平成30年度入学生対象

別記様式1

主専攻プログラム詳述書

開設学部(学科)名〔歯学部口腔健康科学科〕

プログラムの名称(和文) 口腔保健学プログラム (英文) Program for Oral Health Science

1. 取得できる学位 学士(口腔健康科学)

2. 概要

口腔健康科学科では、科学的根拠に基づき、歯学だけではなく医学、工学、看護学などの分野との連携を図り、口腔健康科学の分野での研究者、教育者及び高度先進的な医療人を育成することを目的として、2つのプログラム(口腔保健学プログラム、口腔工学プログラム)を提供しています。そのうち、口腔保健学プログラムは高度先進的な口腔保健医療人の育成、歯科衛生士職務分野の研究者、教育者の育成を行い、また、希望する者には養護教諭一種免許状を取得できるようにして、学校保健で活躍できる歯科医療人の育成を図ります。

- 3. ディプロマ・ポリシー (学位授与の方針・プログラムの到達目標) 口腔保健学プログラムでは、口腔保健と学校保健の分野で活躍できる以下の人材を養成します。
 - ・高度先進的な口腔保健医療人。

腔健康科学)の学位を授与します。

- ・歯科衛生士職務分野の研究者,教育者。
- ・養護教諭一種免許を取得し、学校保健で活躍できる歯科医療人。 そのため、本プログラムでは、以下の能力を身につけ、教育課程の定める単位を修得した者に学士(ロ
- (1) 歯科衛生士として必要な基礎的教養,基礎歯科医学,臨床歯科医学,歯科衛生士専門科目,隣接医学について総合的知識と技能を統合し,活用できます。
- (2) 患者, スタッフと良好な対人関係を築いて患者中心のチーム歯科医療が行えます。
- (3) 将来,口腔保健学の研究者,歯科衛生士の教育あるいは臨床における指導的役割を担うため,最先端の知識,教育能力,情報収集能力,問題解決能力,研究能力,倫理的思考力,生涯学習能力を修得し,活用できます。
- (4) 歯科専門知識を有する養護教諭として学校保健の場で必要とする知識,技能,態度を修得します。
- 4. カリキュラム・ポリシー (教育課程編成・実施の方針)

口腔保健学プログラムでは、プログラムが掲げる到達目標を学生が達成できるように、以下の方針の下 に教育課程を編成し、実践します。

- (1) 1年次には、他学部学生とともに教養教育を受け、幅広い教養を身につけ、歯科医療人となるための知的基盤を養います。また、「教養ゼミ」におけるPBL (Problem Based Learning) により、自己主導型学習を進めるための基本的な態度・技能・知識を修得します。さらに、専門の基礎知識を修得し、専門性を深めるための基盤を作ります。
 - (2) 2~4年次には、専門科目を履修し、専門知識と技能を修得します。この専門科目には、口腔保健

に関する科目はもちろんですが、生命科学などの基礎科学、歯科及び隣接医学などを含みます。

- (3) 3年第3・4タームと4年次に「口腔保健衛生学臨床・臨地実習」を履修し、それまでに修得した 専門知識と技能を臨床現場において実施します。それを通して、専門的歯科医療、一般的歯科医療、チーム医療などについての技能・知識を修得し、コミュニケーション能力、医療人としての規範意識とマナー、社会性、協調性、判断力を身につけます。
- (4)養護教諭コース選択者は、4年次に「養護実習」を履修し、学校保健活動を行う教育者として、教職への使命感、教育的愛情、対人関係能力などを修得します。
- (5) 3年第3・4タームと4年次には「卒業研究」を履修し、教員が行なっている最先端の研究に参加、 あるいは口腔保健学に関する問題を自分で発見、研究、解決します。それを通じて情報収集能力、問題 解決能力、研究能力、論理的思考力の修得を行います。
- (6) バイオデンタル教育を通じて、科学的探究心に加え、多職種と連携可能な高度な学識と医療技術を 養います。

なお、学修の成果は、各科目の成績評価と、各教育プログラムで設定する到達目標への到達度の2つで評価します。

5. 開始時期 · 受入条件

1年次(入学時)

口腔健康科学科では専攻ごとに入学試験を課しており、本プログラムは、歯学部口腔健康科学科口腔保健学専攻入学生のみを対象者として構築されています。

6. 取得可能な資格

(2) 得られる資格等

歯科衛生士国家試験受験資格(卒業と同時に得られる) 別に指定する科目を全て履修した場合,養護教諭一種免許状

7. 授業科目及び授業内容

別紙3を参照

※授業科目は、別紙1の履修表を参照すること。

※授業内容は、各年度に公開されるシラバスを参照すること。

8. 学習の成果

各学期末に、学習の成果の評価項目ごとに、評価基準を示し、達成水準を明示する。

各評価項目に対応した科目の成績評価をS=4, A=3, B=2, C=1と数値に変換した上で,加重値を加味し算出した評価基準値に基づき,入学してからその学期までの学習の成果を「極めて優秀(Excellent)」,「優秀(Very Good)」,「良好(Good)」の3段階で示す。

成績評価	数値変換
S (秀:90点以上)	4
A(優:80~89点)	3
B(良:70~79点)	2
C (可:60~69点)	1

学習の成果	評価基準値
極めて優秀(Excellent)	3.00~4.00
優秀(Very Good)	2.00~2.99
良好(Good)	1.00~1.99

※別紙2の評価項目と評価基準との関係を参照すること。

※別紙3の評価項目と授業科目との関係を参照すること。

※別紙4のカリキュラムマップを参照すること。

プログラムによる学習の成果 (具体的に身につく知識・技能・態度)

○知識・理解

- 1. 人文科学や自然科学などの一般教養に関する知識・理解
- 2. 外国語と外国文化に関する知識・理解
- 3. 医の原則に関する知識・理解
- 4. 歯科医療従事者としての基本的な態度に関する知識・理解
- 5. 人の全身、歯、口腔の構造と機能に関する知識・理解
- 6. 疾病の成り立ち及び回復過程の促進に関する知識・理解
- 7. 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組みに関する知識・理解
- 8. 歯科衛生士専門分野(歯科予防処置,歯科診療補助,歯科保健指導)に関する知識・理解
- 9. 学校保健に関する知識・理解

○能力・技能

- 1. 歯科医療従事者としてコミュニケーションを行う能力・技態及び態度
- 2. 情報を取捨選択し、論理的に整理し、発信する能力・技能
- 3. 歯科衛生士専門分野(歯科予防処置,歯科診療補助,歯科保健指導)を実践するために必要な能力 と基本的技能
- 4. 口腔保健学に関する問題発見と研究の計画立案・推進・結果分析・結果発表を行う能力と基本的技能
- 5. 学校保健に携わるために必要な能力と基本的技能

○総合的な力

- 1. 歯科医療従事者として活動し、生涯にわたり学習する総合的な力
- 2. チーム歯科医療として歯科予防処置、歯科診療補助、歯科保健指導を行う基本としての総合的な力
- 3. 学校保健活動を行う基本としての総合的な力・技能及び態度
- 9. 卒業論文(卒業研究)(位置づけ,配属方法,時期等)

卒業論文を課す。

①位置付け

教員が行っている最先端の研究に参加、あるいは口腔保健学に関する問題を自分で発見、研究、解決を行う。それを通じて情報収集能力、問題解決能力、研究能力、論理的思考力の修得を行う。

②配属方法·時期

3年次後期より配属する。配属方法は別に定めるが、学生の希望を重視する。

10. 責任体制

本プログラムの計画・実施は歯学部学部長室会議及び歯学部教授会が行う。評価検討・対処は、歯学部長が歯学部予部長室会議及び歯学部教授会に諮問し、答申内容を尊重して歯学部長が実行する。

履修表(歯学部教育課程表(別表第1))

〈口腔健康科学科 口腔保健学プログラム〉

区分			科目区	分	要修得 単位数	授業科目等	単位数	履修區	区分	履修ターム (注1)
			平和科	∤ 目	2		2	選択。	必修	2年次2ターム
	基大礎学	大	学 教	育 入 門	2	大学教育入門	2	必	修	1ターム
	科教目育	孝	数 養	ゼミ	2	教養ゼミ	2	必	修	1ターム
					4	人文社会科学系から2科目4単位以上	1又は2	選択』	必修	1, 3ターム
		Í	頂 域	科 目	2	全身の健康と口腔科学I	2	必	修	2ターム
					2	全身の健康と口腔科学II	2	必	修	4ターム
				コミュニ ケーション	2	コミュニケーション基礎I	1	必	修	集中講義等
				基礎	۷	コミュニケーション基礎II	1	<i>9</i> 2.		集中講義等
				コミュニ	2	コミュニケーションIA	1	必	修	1, 2ターム
				ケーションI	۷	コミュニケーションIB	1	2 L.		1, 27
	п.	外	英語	コミュニ ケーション	2	コミュニケーションIIA	1	必	修	3, 4ターム
	共通	国語	(注2)	II	2	コミュニケーションIIB	1	犯	IS.	0, 4/ 4
教	科目	科				コミュニケーションⅢA	1			
教養教育科		目		コミュニ ケーション	2	コミュニケーション Ⅲ B	1	選択。	必修	2年次1,3ターム
育					2	コミュニケーションⅢC	1			
目						上記3科目から2科目				
				外国語 プランス語, 中国	4	ベーシック外国語Iから2科目	1	選択並	火修	1, 2ターム
			語のうちから1	言語選択)	4	ベーシック外国語IIから2科目	1	XX1/1/X		3, 4ターム
		4	青 報	科目	2	情報活用基礎	2	選択。		1ターム
		1	H TK	71 H	2	情報活用演習	2	(注:	3)	3ターム
		矦	建康スポ	ーツ科目	2		1又は2	選択。	必修	1~4ターム
					2	医療従事者のための心理学	2	必 (注 [,]		4ターム
						初修生物学(注5)	2			1ターム
		基	盤	科目	2	細胞科学	2	選択卓	火修	3ターム
					2	人間理解のための人体解剖学I	1	J <u>25</u> 1/\4	コリシ	3ターム
						人間理解のための人体解剖学II	1			4ターム
					2	初修化学	2	必	修	2ターム
			計		36					

- 注1:年次の記載がない場合は1年次に履修すること。なお、単位を修得できなかった場合はこれ以降に履修することも可能である。授業科目により実際に開講するタームが異なる場合があるので、毎年発行する教養教育科目授業時間割等で確認すること。
- 注2:短期語学留学等による「英語圏フィールドリサーチ」又は自学自習による「オンライン英語演習I・II・III」の履修により修得した単位を、卒業に必要な英語の単位(8単位)に代えることが可能である。また、外国語技能検定試験、語学研修による単位認定制度もある。詳細については、学生便覧の教養教育の英語に関する項、「外国語技能検定試験等による単位認定の取扱いについて」を参照すること
- 注3:1年次前期開設の「情報活用基礎」を履修すること。なお、「情報活用基礎」の単位を修得できなかった場合のみ、後期開設の「情報活用 演習」を履修することができる。
- 注4: 「医療従事者のための心理学」の単位を修得できなかった場合のみ、「心理学概論A」又は「心理学概論B」の履修により修得した単位を、 卒業に必要な単位(2単位)に算入することできる。
- 注5: 履修すべき科目がある場合は、歯学部において指定する。なお指定された科目以外を修得しても卒業に必要な単位に含めない。
- 注6:養護教諭の免許を取得しようとする者は、「養護教諭一種免許取得に必要な履修科目」を参照すること。

履修表(歯学部教育課程表(別表第2))

〈口腔健康科学科 口腔保健学プログラム〉

			学年・	セメン	スター	別履修	を単位	数				
区	科目	授業科目	最低修得単位		1	1	2	1	3	1	4	備考
分	区分		数		2	3	4	5	6		8	viii 3
		◎ 系統解剖学	0	1	۷	3	4	Э	б	1	8	
		○ 口腔解剖学	2	2								
		○ 口腔解剖学演習	2		2						<u> </u>	
			1			1					<u> </u>	
	専	◎ 組織学・口腔組織学	2			2					<u> </u>	
		◎ 生理学・口腔生理学	2		2						<u> </u>	
		◎ 病理学・口腔病理学	2			2						
	門	◎ 薬理学・歯科薬理学	2			2						
		◎ 微生物学・口腔微生物学	2			2						
		◎ 免疫学	1			1						
	基	◎ 基礎オーラルサイエンス実習	1			1						
専		◎ 口腔衛生学	2			2						
•		◎ 衛生学・口腔衛生学実習	1				1					
	礎	◎ 歯学統計学	1					1				
	,,,	◎ 衛生行政	1				1				<u> </u>	
		◎ 衛生学・公衆衛生学	1		1							
	4 31	◎ 対人コミュニケーション論	1				1					
	科	◎ 医療コミュニケーション基礎論	1				1					
		◎ 臨床心理学	1					1				
門		◎ 社会福祉学	1				1					
17	目	◎ 医療倫理学	1					1				
		◎ 総合医科学	2					2				
		◎ 基礎栄養生化学	2			2						
		◎ 栄養指導学演習(食品学を含む)	1					1				
		◎ 口腔保健学概論	1	1								
		◎ 口腔保健学臨床概論	1		1							
		◎ 臨床歯科学概論	1		1							
		◎ 発達期系歯科学	2		1		1	1	 		 	
教		◎ 修復系歯科学				1	1	1	 		 	
			1			1	0		<u> </u>		-	
		◎ 保存系歯科学	2				2					
		◎ 補綴系歯科学	2			2						
		◎ 外科系歯科学	2				2					
	専	◎ 歯科放射線学	1				1				<u> </u>	
		◎ 障害者歯科学	1					1				
		◎ 成人・高齢者歯科学	2					2				
育		◎ 歯科材料学	1			1						
Ħ		◎ 歯科麻酔学	1				1					
		◎ 歯科医療管理学示説 A	1				1					
		◎ 歯科医療管理学示説 B	1					1				
	門	◎ チーム歯科医療学	1			1						
	L.1	◎ チーム歯科医療学実習 I	1				1					
		◎ チーム歯科医療学実習Ⅱ	1					1				
		◎ チーム歯科医療学実習Ⅲ	1						1			
		◎ 健康社会学	1			T		1	Ť			
科		◎ 口腔保健教育学	1				1	Ė				
		○ 口腔保健行動学演習 A	1			t	1					
		○ 口腔保健行動学演習B	1			\vdash	1	1			<u> </u>	
	科	○ 口腔保健行動学実習 I	1			1		1				
						1	-	\vdash	<u> </u>		<u> </u>	
		○ 口腔保健行動学実習Ⅱ	1			-	1	<u> </u>			<u> </u>	
		○ 口腔保健行動学実習Ⅲ	1			 		1			<u> </u>	
		◎ 医療情報処理学	2			ļ .	2	<u> </u>				
目		◎ 口腔保健管理学実習 I	1			1		<u> </u>			<u> </u>	
1		◎ 口腔保健管理学実習 Ⅱ	1				1	<u> </u>	<u> </u>		<u> </u>	
		◎ 口腔保健管理学実習Ⅲ	1			<u> </u>		1			<u> </u>	
	目	◎ 口腔保健管理学実習IV	1						1		<u> </u>	
		◎ 口腔保健カウンセリング実習	1						1			
		◎ 学校歯科保健教育論	1					1				
		◎ リハビリテーション概論	1						1			
		◎ 摂食・嚥下障害学	1					1				
		◎ 口腔リハビリテーション学実習	1						1			
		◎ 看護学 I	1			1						
		◎ 看護学Ⅱ	2			Ť	2	\vdash				
						1	۷	0		1	<u> </u>	
		看護学Ⅲ	2]	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	2	<u> </u>	L	<u> </u>	

履修表(歯学部教育課程表(別表第2))

.	6 1					学年•	セメス	(ター	別履値	単位	数		
区分	科目 区分		授 業 科 目	最低修得単位 数		1	6	2		3		4	備考
	->0			<i></i>	1	2	3	4	5	6	7	8	
			看護学演習	1				1					
	専		基礎看護学臨床実習 (養護教諭)	1						1			
専	-4-		養護概説	2					2				
			健康相談	1						1			
門	門		学校保健演習	2						2			
1 1	1,1		小児科学	1					1				
教			精神科学	1					1				
教	科		精神保健学	1					1				
	7-1	0	スポーツ歯科・顎関節症保健学	1					1				
育			歯科臨床教育学	1						1			
	目	0	口腔保健衛生学臨床・臨地実習	20						5	9	6	
科	Н		口腔保健管理学臨床実習	5							1	4	
		0	卒業研究	3						1	1	1	
目	11.1.	オデン	◎スタートアップコースワーク	1				1					
	タルす	教育科	◎専門コースワーク	1						1			
			◎実践専門英語演習	1						1			
			合 計	105	3	7	24	22	21	11	10	7	選択科目は除く。

(注)◎は必修科目を示す。

口腔保健学プログラム 卒業要件単位数 141単位以上

た不使ナノロノノム 千米女件中世界	X 141年世以上		
教養教育科目		専門教育科目	
平和科目	2単位	専門基礎科目	33単位以上
大学教育基礎科目	4単位	専門科目	69単位以上
領域科目	8単位	バイオデンタル教育科目	3単位以上
共通科目			
外国語科目			
英語	8単位		
初修外国語	4単位		
情報科目	2単位		
健康スポーツ科目	2単位		
基盤科目	6単位		

教養教育科目小計 36単位以上 専門教育科目小計 105単位以上

口腔保健学プログラムにおける学習の成果

評価項目と評価基準との関係

		学習の成果		評価基準	
		評価項目	極めて優秀(Excellent)	優秀(Very Good)	良好(Good)
	(1)	人文科学や自然科学などの一般教養に 関する知識・理解	各科目の内容を全て正確に説明でき, さらに学び を深めて展開できる	各科目の内容を全て正確に説明できる	各科目の内容のほとんどを説明できる
	(2)	外国語と外国文化に関する知識・理解	各科目の内容を全て正確に説明でき, さらに学び を深めて展開できる	各科目の内容を全て正確に説明できる	各科目の内容のほとんどを説明できる
	(3)	医の原則に関する知識・理解	各科目の内容を全て正確に説明でき, さらに学び を深めて展開できる	各科目の内容を全て正確に説明できる	各科目の内容のほとんどを説明できる
知	(4)	歯科医療従事者としての基本的な態度 に関する知識・理解	各科目の内容を全て正確に説明でき, さらに学び を深めて展開できる	各科目の内容を全て正確に説明できる	各科目の内容のほとんどを説明できる
識	(5)	人の全身, 歯, 口腔の構造と機能に関す る知識・理解	各科目の内容を全て正確に説明でき, さらに学び を深めて展開できる	各科目の内容を全て正確に説明できる	各科目の内容のほとんどを説明できる
理解	(6)	疾病の成り立ち及び回復過程の促進に 関する知識・理解	各科目の内容を全て正確に説明でき, さらに学び を深めて展開できる	各科目の内容を全て正確に説明できる	各科目の内容のほとんどを説明できる
	(7)	歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社 会の仕組みに関する知識・理解	各科目の内容を全て正確に説明でき, さらに学び を深めて展開できる	各科目の内容を全て正確に説明できる	各科目の内容のほとんどを説明できる
	(8)	歯科衛生士専門分野(歯科予防処置, 歯科診療補助,歯科保健指導)に関す る知識・理解	各科目の内容を全て正確に説明でき, さらに学び を深めて展開できる	各科目の内容を全て正確に説明できる	各科目の内容のほとんどを説明できる
	(9)	学校保健に関する知識・理解	各科目の内容を全て正確に説明でき, さらに学び を深めて展開できる	各科目の内容を全て正確に説明できる	各科目の内容のほとんどを説明できる
	(1)	歯科医療従事者としてコミュニケーション を行う能力・技能	実習等において、基礎的知識を予習した上で積極的かつ探求的態度で臨み、学びを深めて展開することができる. レポートなどの作成においては、事象を客観的に評価考察し、さらに今後の課題についても客観的に考えることができる.	実習等において、態度が良好で学んだことを 原理原則に基づいて応用することができる.レポートなどの作成においては、事象を客観的 に評価考察することができる.	実習等において、態度が良好で、学んだことを原理原則に基づいて、展開することができる. レポートなどの作成においては、事象を客観的に記述することができる.
Ale	(2)	情報を取捨選択し, 論理的に整理し, 発信する能力・技能	実習等において、基礎的知識を予習した上で積極的かつ探求的態度で臨み、学びを深めて展開することができる. レポートなどの作成においては、事象を客観的に評価考察し、さらに今後の課題についても客観的に考えることができる.	実習等において、態度が良好で学んだことを 原理原則に基づいて応用することができる. レポートなどの作成においては、事象を客観的 に評価考察することができる.	実習等において、態度が良好で、学んだことを原理原則に基づいて、展開することができる. レポートなどの作成においては、事象を客観的に記述することができる.
能力・技能	(3)		実習等において、基礎的知識を予習した上で積極的かつ探求的態度で臨み、学びを深めて展開することができる. レポートなどの作成においては、事象を客観的に評価考察し、さらに今後の課題についても客観的に考えることができる.	実習等において、態度が良好で学んだことを 原理原則に基づいて応用することができる.レポートなどの作成においては、事象を客観的 に評価考察することができる.	実習等において、態度が良好で、学んだことを原理原則に基づいて、展開することができる. レポートなどの作成においては、事象を客観的に記述することができる.
	(4)	口腔保健学に関する問題発見と研究の計画立案・推進・結果分析・結果発表を 行う能力と基本的技能	実習等において、基礎的知識を予習した上で積極的かつ探求的態度で臨み、学びを深めて展開することができる. レポートなどの作成においては、事象を客観的に評価考察し、さらに今後の課題についても客観的に考えることができる.	実習等において,態度が良好で学んだことを 原理原則に基づいて応用することができる.レポートなどの作成においては,事象を客観的 に評価考察することができる.	実習等において、態度が良好で、学んだことを原理原則に基づいて、展開することができる. レポートなどの作成においては、事象を客観的に記述することができる.
	(5)	学校保健に携わるために必要な知的能力と基本的技能	実習等において、基礎的知識を予習した上で積極的かつ探求的態度で臨み、学びを深めて展開することができる. レポートなどの作成においては、事象を客観的に評価考察し、さらに今後の課題についても客観的に考えることができる.	実習等において、態度が良好で学んだことを 原理原則に基づいて応用することができる. レポートなどの作成においては、事象を客観的 に評価考察することができる.	実習等において、態度が良好で、学んだことを原理原則に基づいて、展開することができる. レポートなどの作成においては、事象を客観的に記述することができる.
総	(1)	歯科医療従事者として活動し,生涯にわたり学習する総合的な力	医療従事者として常に患者 を念頭におき, 生涯 にわたり 自主性を持っ て計画,企画 し,学習を続け ることができ る	医療従事者として常に患者を念頭におき,生涯 にわたり自主性を持った学習を続けることがで きる	医療従事者として常に患者を念頭におき,生 涯にわたり学習ができる
合的な	(2)	チーム歯科医療としての歯科予防処置, 歯科診療補助,歯科保健指導を行う基 本としての総合的な力	各職種の役割 を理解した上 で,必要なニー ズを考え,適切 に働きかけな がら医療を行 うことができる	各職種の役割 を理解した上 で,適切に働き かけながら医 療を行うこと ができる	チームの一員であることを認識して行動することができる
力	(3)	学校保健活動を行う基本としての総合的な力	学校保健活動 を行う教育者 として、教職へ の使命感、教育 的愛情、対人関 係能力など教 師としての資 質や能力を十 分に備えている	学校保健活動 を行う教育者 として、教職への使命感、教育 的愛情、対人関 係能力など 教 師としての資 質や能力を備 えている	学校保健活動 を行う教育者 として、教職への使命感、教育 的愛情、対人関 係能力など教 師としての資 質や能力を概 ね備えている

主専攻プログラムにおける教養教育の位置づけ

専門教育を受けるための学問的基盤を作ると共に、人文科学、社会科学、語学などを幅広く学んで知識を習得し、知的好奇心と知的行動力を養う。さらにコミュニケーション能力や協調性、情報収集能力を身につけ、医療人としての基礎を築く。

口腔保健学プログラム 評価項目と授業科目との関係

													4n 鹁	:理解						<u> </u>	評価	項目	<u> </u>				能力	•技能					T		級△	的な力			目中
		77. KL 366	必修・	W	. (1)	<u> </u>	2)	T (3)		(4)	1	(5)	_	(6)	T (7)	(8	3)	(0	9)	(1)	(2)	月ピノノ (:			4)		(5)	((1)	_	(2)	(3	<u>の</u> 記	評価
科目区分	授業科目名	単位数	選択 区分	開設期			_		_	_	_							,									.					_		`, `					目の 加重
					科目中 の評価 項目の 加重値	目中の加重値	科目中 の評価 項目の 加重値	評価項 目中の 加重値	の評価 項目の 加重値	評価項 目中の 加重値	科目中 の評価 項目の 加重値	評価項 目中の 加重値	の評価 項目の 加重値	評価項 目中の 加重値	の評価 項目の 加重値	評価項 目中の 加重値	科目中 の評価 項目の 加重値	目中の加重値	科目中 の評価 項目の 加重値	評価項 目中の 加重値	科目中 の評価 項目の 加重値	目中の 加重値	の評価 項目の 加重値	評価項 目中の 加重値	の評価 項目の 加重値	評価項 目中の 加重値	の評価 項目の 加重値	評価項 目中の 加重値	科目中 の評価 項目の 加重値	目中の 加重値	科目中 の評価 項目の 加重値	目中の加重値	科目中 の評価 項目の 加重値	目中の加重値	科目中 の評価 項目の 加重値	評価項 目中の 加重値	科目中 の評価 項目の 加重値	評価項 総力 目中の 値 加重値	
教養教育科目	平和科目	2	必修	3	100	1																																	100
教養教育科目	大学教育基礎科目	4	必修	1	100	1																																	100
教養教育科目	外国語科目	12	必修	1-4			100	1																															100
教養教育科目	情報科目	2	必修	1,2	100	1																																	100
教養教育科目	領域科目	8	必修	1,2	100	1																																	100
教養教育科目	健康スポーツ科目	2	必修	1,2	100	1																																	100
教養教育科目	基盤科目	6	必修	1,2	100	1																																	100
専門教育科目	系統解剖学	2	必修	1											100	1																							100
専門教育科目	口腔解剖学	2	必修	2											100	1																							100
専門教育科目	口腔解剖学演習	1	必修	3											70	1									30	1													100
専門教育科目	組織学・口腔組織学	2	必修	3											100	1																							100
専門教育科目	生理学・口腔生理学	2	必修	2											100	1																							100
専門教育科目	病理学•口腔病理学	2	必修	3													100	1																					100
専門教育科目	薬理学・歯科薬理学	2	必修	3															100	1																			100
専門教育科目	微生物学・口腔微生物学	2	必修	3											100	1																							100
専門教育科目	免疫学	1	必修	3											100	1																							100
専門教育科目	基礎オーラルサイエンス実習	1	必修	3											70	1											30	1											100
専門教育科目	口腔衛生学	2	必修	3															100	1																			100
専門教育科目	衛生学·口腔衛生学実習	1	必修	4																					50	1	50	1											100
専門教育科目	歯科衛生統計	1	必修	5									50	1											50	1													100
専門教育科目	衛生行政	1	必修	4									100	1																									100
専門教育科目	衛生学·公衆衛生学	1	必修	2									100	1																									100
専門教育科目	対人コミュニケーション論	1	必修	4																			100	1															100
専門教育科目	医療コミュニケーション基礎論	1	必修	4																			100	1															100
専門教育科目	臨床心理学	1	必修	5															100	1																			100
専門教育科目	社会福祉学	1	必修	4									100	1																									100
専門教育科目	医療倫理学	1	必修	5					100	1																													100
専門教育科目	総合医科学	2	必修	5											50	1	50	1																					100
専門教育科目	基礎栄養生化学	2	必修	3											50	1											50	1											100
専門教育科目	栄養指導学演習(食品学を含む)	1	必修	5																							100	1											100
専門教育科目	口腔保健学概論	1	必修	1							100	1																											100
専門教育科目	口腔保健学臨床概論	1	必修	2															100	1																			100
専門教育科目	臨床歯科学概論	1	必修	2															100	1																			100
専門教育科目	発達期系歯科学	2	必修	4,5															100	1																			100
専門教育科目	修復系歯科学	1	必修	3															100	1																			100
専門教育科目	保存系歯科学	2	必修	4															100	1																			100
専門教育科目	補綴系歯科学	2	必修	3															100	1																			100
専門教育科目	外科系歯科学	2	必修	4															100	1																			100
専門教育科目	歯科放射線学	1	必修	4															100	1																			100
専門教育科目	障害者歯科学	1	必修	5															100	1																			100

口腔保健学プログラム 評価項目と授業科目との関係

口压休健子	フロクフム 評価項目 T	1 C1文才 T T	E17	日 乙 (/ T	ノ労(が															=	जं क्र	7苦 t	=																
													知識	•理解						Ä	平 価	<u></u> 垻 ;	<u>∃</u> [能力・	技能							総合的	的な力		7	科目中
科目区分	授業科目名	単位数	必修• 選択	開設期	A ((1)		2)	(:	3)	(4		()	5)	(6)	('	7)	(8			9)		1)	('		(5	3)	(4		(5		(-	()		2)	(3)	<u>,</u>)	の評価 項目の
116 623			区分	開設期	の評価	評価項 目中の 加重値	科目中 の評価	評価項 目中の 加重値	科目中 の評価	評価項 目中の 加重値	科目中 の評価 項目の 加重値	評価項 目中の 加重値	科目中 の評価 項目の 加重値	評価項目中の	科目中 の評価 項目の 加重値	評価項 目中の 加重値	科目中 の評価 項目の 加重値	評価項目中の	科目中 の評価 項目の 加重値	評価項 目中の 加重値	科目中 の評価 項目の 加重値	評価項目中の	科目中 の評価 項目の 加重値	評価項 目中の 加重値	科目中 の評価	評価項 目中の 加重値	科目中 の評価	評価項 目中の 加重値	科目中 の評価 項目の 加重値	評価項 目中の 加重値	科目中 の評価	評価項 目中の 加重値	科目中 の評価	評価項 目中の 加重値	科目中 の評価 項目の 加重値	評価項 目中の 加重値	科目中 の評価 項目の 加重値	評価項 目中の 加重値	総加重
					項目の 加重値	加重値	項目の 加重値	加重値	項目の 加重値	加重値	項目の 加重値	加重値	項目の 加重値	加重値	項目の 加重値	加重値	項目の 加重値	加重値	項目の 加重値	加重値	項目の 加重値	加重値	項目の 加重値	加重値	項目の 加重値	加重値	項目の 加重値	加重値	項目の 加重値	加重値	項目の 加重値	加重値	項目の 加重値	加重値	項目の 加重値	加重値	項目の 加重値	加重値	
専門教育科目	成人•高齢者歯科学	2	必修	5															100	1																			100
専門教育科目	歯科材料学	1	必修	3															100	1																			100
専門教育科目	歯科麻酔学	1	必修	4															100	1																			100
専門教育科目	歯科医療管理学示説A	1	必修	4															100	1																			100
専門教育科目	歯科医療管理学示説B	1	必修	5															50	1							50	1											100
専門教育科目	チーム歯科医療学	1	必修	3					50	1	50	1																											100
専門教育科目	チーム歯科医療学実習[1	必修	4																							50	1							50	1			100
専門教育科目	チーム歯科医療学実習II	1	必修	5																															100	1			100
専門教育科目	チーム歯科医療学実習III	1	必修	6																							50	1							50	1			100
専門教育科目	健康社会学	1	必修	5									100	1																									100
専門教育科目	口腔保健教育学	1	必修	4																	100	1																	100
専門教育科目	口腔保健行動学演習A	1	必修	4																			100	1															100
専門教育科目	口腔保健行動学演習B	1	必修	5																			100	1															100
専門教育科目	口腔保健行動学実習I	1	必修	3																									100	1									100
専門教育科目	口腔保健行動学実習II	1	必修	4																			50	1			50	1											100
専門教育科目	口腔保健行動学実習III	1	必修	5																			50	1			50	1											100
専門教育科目	医療情報処理学	2	必修	4																					100	1													100
専門教育科目	口腔保健管理学実習I	1	必修	3															100	1																			100
専門教育科目	口腔保健管理学実習II	1	必修	4																			100	1															100
専門教育科目	口腔保健管理学実習III	1	必修	5																							100	1											100
専門教育科目	口腔保健管理学実習IV	1	必修	6																							100	1											100
専門教育科目	口腔保健カウンセリング実習	1	必修	6													<u> </u>										100	1					<u> </u>						100
専門教育科目	学校歯科保健教育論	1	必修	5																	100	1											<u>'</u>						100
専門教育科目		1	必修	6															100	1													<u>'</u>						100
	摂食•嚥下障害学	+	必修	5																							100	1					<u> </u>						100
		 	必修	6													<u> </u>										100	1					<u> </u>				\longrightarrow		100
専門教育科目		+	必修	3															100	1													<u> </u>						100
専門教育科目		2	必修	4													<u> </u>		100	1													<u> </u>				\longrightarrow		100
専門教育科目		2	選択	5																	50	1									50	1	<u> </u>						100
専門教育科目		 	選択	5													<u> </u>				100	1											<u> </u>				\longrightarrow		100
***************************************	精神科学	 	選択	5													<u> </u>				100	1											<u> </u>				\longrightarrow		100
		 	選択	5																	100	1											<u> </u>						100
	基礎看護学臨床実習(養護教諭)	 	選択	6													<u> </u>								50	1							<u> </u>		50	1			100
	学校保健演習	 	選択	6													<u> </u>														50	1	<u> </u>		<u> </u>		50	1	100
	看護学演習	1	選択	4													<u> </u>														100	1	<u> </u>						100
·	養護概説	2	選択	5																											100	1	<u> </u>						100
	スポツ□歯科・顎関節症保健学			5													<u> </u>		100	1													<u> </u>						100
専門教育科目		_	選択	+													<u> </u>														100	1	<u> </u>						100
専門教育科目		_	選択	_													<u> </u>												100	1			<u> </u>						100
	口腔保健衛生学臨床・臨地実習	 	必修		-		<u> </u>										<u> </u>										50	1					<u> </u>		50	1			100
	口腔保健管理学臨床実習	_	選択	+													<u> </u>																<u> </u>		100	1			100
専門教育科目		-	必修	6-8	-		<u> </u>										<u> </u>																100	1	<u> </u>				100
	スタートアップコースワーク	 	必修	4													<u> </u>										100	1					<u> </u>						100
-	専門コースワーク	-	必修	6	-		<u> </u>										<u> </u>										100	1					<u> </u>		<u> </u>				100
専門教育科目	実践専門英語演習	1	必修	6			70	1															30	1															100

口腔保健学プログラムカリキュラムマップ

学習の成果		1年	2	: 年	3:	年	4	·年
評価項目	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
	大学教育基礎科目(◎)	情報科目(〇)	平和科目(◎)					
	情報科目(〇)	領域科目(〇)						
人文科学や自然科学などの一般	領域科目(〇)	健康スポーツ科目(〇)						
教養に関する知識・理解	健康スポーツ科目(〇)	基盤科目(◎)						
	基盤科目(◎)							
外国語と外国文化に関する知識・ 理解	外国語科目(◎)	外国語科目(◎)	外国語科目(◎)	外国語科目(◎)		実践専門英語演習(◎)		
			チーム歯科医療学(◎)		医療倫理学(◎)			
医の原則に関する知識・理解								
	口腔保健学概論(◎)		チーム歯科医療学(◎)					
歯科医療従事者としての基本的	口圧体度于城岬(ᢀ)		7 △四行区源于(◎)					
な態度に関する知識・理解								
		衛生学・公衆衛生学(◎)		社会福祉学(◎)	歯科衛生統計(◎)			
人の全身、歯、口腔の構造と機		HITT AKHITTO		衛生行政(◎)	健康社会学(◎)			
能に関する知識・理解				H-112X(0)	EMILA I (e)			
	系統解剖学(◎)	口腔解剖学(◎)	微生物学・口腔微生物学(◎)		総合医科学(◎)			
		生理学·口腔生理学(◎)	免疫学(◎)					
疾病の成り立ち及び回復過程の			基礎オーラルサイエンス実習(◎)					
促進に関する知識・理解			基礎栄養生化学(◎)					
			組織学・口腔組織学(◎)					
			口腔解剖学演習(◎)					
歯・口腔の健康と予防に関わる人			<mark>病理学·口腔病理学(◎)</mark>		総合医科学(◎)			
間と社会の仕組みに関する知識・ 理解								
		口腔保健学臨床概論(◎)	薬理学・歯科薬理学(◎)	発達期系歯科学(◎)	発達期系歯科学(◎)	リハビケーション□概論(◎		
		臨床歯科学概論(◎)	口腔衛生学(◎)	保存系歯科学(◎)	障害者歯科学(◎)			
ᄩᇄᄺᇎᆝᆂᇛᄼᄤᄼᅝᅺᄀᄙ			修復系歯科学(◎)	外科系歯科学(◎)	成人·高齢者歯科学(◎)			
歯科衛生士専門分野(歯科予防 処置, 歯科診療補助, 歯科保健			補綴系歯科学(◎)	歯科放射線学(◎)	臨床心理学(◎)			
処直, 圏科診療補助, 圏科体健 指導)に関する知識・理解			歯科材料学(◎)	歯科麻酔学(◎)	スポツ酔歯科・顎関節症保健学(◎)			
11 (1/1/-IVI) CHIM -TIT			口腔保健管理学実習[(◎)	歯科医療管理学示説A(◎)	歯科医療管理学示説B(◎)			
			看護学!(◎)	看護学II(◎)				
				□腔保健教育学(◎)	学校歯科保健教育論(◎			
		1	1		小児科学(Δ)			
学校保健に関する知識・理解					精神科学(Δ)		1	
					精神保健学(Δ)		7	
					看護学Ⅲ(△)		1	1

口腔保健学プログラムカリキュラムマップ

	学習の成果		1年	2	2年		3年		4年
	評価項目	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
					対人コミュニケーション論(◎)	口腔保健行動学実習III(◎)	実践専門英語演習(◎)		
	上 以 医 店 必 古 老 リーマーラー				医療コミュニケーション基礎論(◎)	口腔保健行動学演習B(◎)			
	■ 歯科医療従事者としてコミュニ ー ケーションを行う能力・技能 ー				口腔保健行動学演習A(◎)				
	/ フョンを打り能力 技能 ―				口腔保健行動学実習II(◎				
					口腔保健管理学実習Ⅱ				
	情報を取捨選択し、論理的に整			口腔解剖学演習(◎)	医療情報処理学(◎)	歯科衛生統計(◎)	基礎看護学臨床実習(△)		
	情報を取拾選択し、調理的に登 理し、発信する能力・技能				衛生学・口腔衛生学実習(◎)				
				世歴士 ニュエノテンス中羽(魚)	在上出口际在上出中 现(图)	<u>集利医体体理学二部内(含)</u>	口味// / / / / / / / / / / / / / / / / / /	口腔保健衛生学臨床	- 吃地字羽(魚)
	<u> </u> -			基礎オーラルサイエンス実習(◎) 基礎栄養生化学(◎)	衛生学・口腔衛生学実習(◎)	歯科医療管理学示説B(◎)	□腔保健管理学実習IV(◎)	口腔保健倒生子临内	【●脳地美音(◎)
J	┃ ┃歯科衛生士専門分野(歯科予防			基礎未養生化字(◎)	口腔保健行動学実習Ⅱ(◎)	栄養指導学演習(◎)	口腔保健衛生学臨床・臨地実習(◎)	
-	処置, 歯科診療補助, 歯科保健				チーム歯科医療学実習Ⅰ(◎)	口腔保健行動学実習Ⅲ(◎)	ロ腔保健カウンセリング実習(◎		
	指導)を実践するために必要な能 —				スタートアップコースワーク(®)	口腔保健管理学実習Ⅲ(◎)	ロ腔リハビケーション□学実習(◎)		
•	力と基本的技能					摂食・嚥下障害学(◎)	チーム歯科医療学実習Ⅲ(◎)		
	<u> </u>						口腔保健衛生学臨床・臨地実習(◎)	
	 口腔保健字に関する問題発見と			口哧/D 法与现代会\\			専門コースワーク(◎)		
	研究の計画立案・推進・結果分			口腔保健行動学実習[(◎))			歯科臨床教育学(Δ)		
	析・結果発表を行う能力と基本的 —								
	技能				看護学演習(△)		健康相談(△)		
	学校保健に携わるために必要な -				有護子演首(立)				
	知的能力と基本的技能 ――					看護学Ⅲ(△)	学校保健演習(△)		
-								卒業研究(◎)	卒業研究(◎)
	歯科医療従事者として活動し、生								
1	涯にわたり学習する総合的な力 —								
	チーム歯科医療としての歯科予		1		チーム歯科医療学実習!(◎)	チーム歯科医療学実習II(◎	チーム歯科医療学実習Ⅲ(◎)	口腔保健衛生学臨床	・臨地実習(◎)
ì	防処置,歯科診療補助,歯科保 健指導を行う基本としての総合的						口腔保健衛生学臨床·臨地実習(◎	口腔保健管理学臨床	実習(△)
	健拍導を付り基本としての総合的						基礎看護学臨床実習(△)		
]	1823						学校保健演習(△)		
	学校保健活動を行う基本としての 総合的な力								
		(例	_)教養科目	 <mark>専門基礎</mark>	_ <mark>_</mark> 専門科目		(◎)必修科目	 (O)選択必修 [;]	<u> </u> 科[(△)選択科

口腔保健学プログラム担当教員リスト

氏名	職名	担当·講座名称	内線番号	メールアドレス
杉山 勝	教授	公衆口腔保健学	5958	masaru@hiroshima-u.ac.jp
重石 英生	講師	公衆口腔保健学	5945	shige@hiroshima-u.ac.jp
野宗 万喜	講師	公衆口腔保健学	5957	nosou@hiroshima-u.ac.jp
内藤 真理子	教授	口腔発達機能学		
鶴田 圭伊子	助教	口腔発達機能学	5795	turuda@hiroshima-u.ac.jp
西村 瑠美	助教	口腔発達機能学	5795	r-nishimura@hiroshima-u.ac.jp
竹本 俊伸	教授	口腔保健管理学	5796	takefn@hiroshima-u.ac.jp
松本 厚枝	講師	口腔保健管理学	5956	atu@hiroshima-u.ac.jp
仁井谷 善恵	助教	口腔保健管理学	5794	kakiura@hiroshima-u.ac.jp